

# 市場予想通り、豪州準備銀行は政策金利を据え置き

- 豪州準備銀行(RBA)は金利据え置きを決定。引き続き、中立的な政策スタンスを維持する姿勢を示す。
- RBAは豪州の堅調な経済成長を予想。2018年、2019年の経済成長率は3%を若干上回る水準へ加速する見込み。
- 賃金上昇の抑制や、小売業における厳しい競争環境を背景に、インフレ率は当面は低水準にとどまる見通し。
- 堅調な景気拡大を背景に、RBAはインフレの緩やかな上昇を予想。年内に目標レンジ内への回復を見込む。

## 豪州準備銀行は政策金利の据え置きを決定

豪州準備銀行(RBA)は5月1日の金融政策理事会で、市場の予想通り、政策金利を据え置きました(図1)。

フィリップ・ロウ総裁は声明文において、「金融政策スタンスを維持することが、持続可能な経済成長およびインフレ目標の達成と整合すると判断した」と述べ、中立的な政策スタンスを維持する姿勢を示しました。

## 3%を上回る豪州の経済成長率を予想

企業のビジネス環境改善や設備投資の拡大、公共インフラ投資の拡大などが景気拡大を下支えすることから、RBAは2018年、2019年の成長率を3%を若干上回る水準まで加速すると予想しています。RBAの経済予想は、5月4日の「四半期金融政策報告」で公表される予定です。

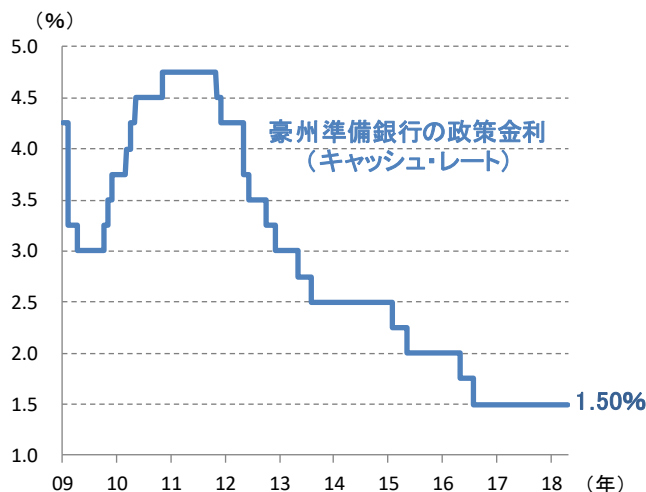
## 賃金上昇の底打ちが、インフレ改善に波及

2018年第1四半期のインフレ率は、RBAの目標レンジ(2~3%)の下限付近に位置しています。賃金上昇に過熱感が見られないことや、小売業における競争が厳しいことから、インフレは当面低水準にとどまることが予想されます。

雇用状況は、改善が足踏みをしています。ここ数カ月、豪州の失業率は5.5%と横ばい状況にあり、雇用者数の伸びも鈍化しています。

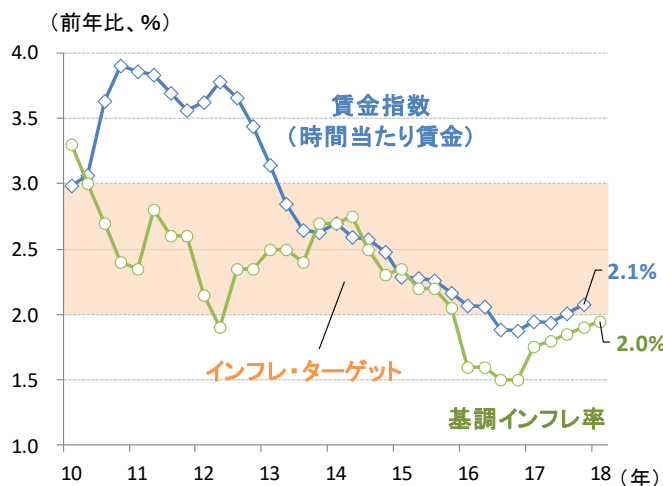
もっとも、雇用の先行きに関する各種指標は、今後の雇用の堅調な伸びを示唆しています。豪州の底堅い雇用が期待される中、賃金上昇率には改善の兆しが見られます。(図2)。RBAは「賃金上昇率は底打ちしたようだ」と述べており、経済成長の加速が賃金上昇を促すとの判断を示しています。順調な景気拡大を背景に、インフレ率も年内に2%を上回る水準まで回復するとRBAは予想しています。

図1: 豪州準備銀行(RBA)の政策金利



(出所) 豪州準備銀行(RBA)  
(期間) 2009年1月1日~2018年5月1日

図2: インフレ率と賃金指数の推移



(出所) 豪州政府統計局(ABS)  
(期間) 基調インフレ率: 2010年1Q~2018年1Q、賃金指数: 2010年1Q~2017年4Q  
(注) 基調インフレ率は消費者物価指数(CPI)のトリム平均値と加重中央値の平均により算出。